

星騎士少女

キラジェム・ナイフ

悪夢の十三日姦

小説 大熊狸喜

挿絵 早川あかり



立ち読み版

プロローグ	星騎士少女 キラジエム・ナイツ!	006
第一章	ダークホール復活! 狙われた星の女王	017
第二章	学校への侵略 星騎士少女の正体がバラされた!	058
第三章	終わりの始まり 因子保有者を探せ	103
第四章	更なる淫墮 星騎士少女が売られる日	146
第五章	完全敗北 砕かれた希望のジュエル	192
エピローグその一	エスメラルダの石像	227
エピローグその二	新しい日常	236

登場人物紹介

Characters



みなみともか

南十文華 / 星騎士スターサファイア

七斗と共に、「星騎士少女 キラジェム・ナイツ」に変身して地球を蝕む星魔と戦う少女。スポーツ万能で元気な少女で、七斗と二人で男子たちの人気を二分している。

星の女王 エスメラルダ

聖なる力で宇宙に光を与え、七斗と十文華の星騎士の力の源でもある宇宙の女神。魔王軍の姦計で封印されていたのだが、七斗たちの活躍で復活した。



きたほしななと

北星七斗 / 星騎士スタールビーナ

宇宙を護る正義の少女戦士「星騎士少女 キラジェム・ナイツ」の一人。大人しく目立たない少女だが、成績もよくて優しいため、密かに男子たちの人気がある。

暗黒戦士 ブラックダイア

ダークホールに仕える魔法戦士で、魔王軍幹部の最後の一人。その正体は、かつて魔王を封印した星騎士だが、十三日間の陵辱調教の末に魔王の下僕へと堕ちた。

黒星魔王 ダークホール

ブラックホールの力で宇宙から光を奪い、宇宙の支配を企む暗黒の魔王。かつての戦いで封印されていたのだが……!?

細い両の手首に巻きつかれ、抱くと折れてしまいそうな腰を搦め捕られ、華奢な左右の足首が触手締めにされる。

「あああつ——お、お放しなさいっつ！」

清楚な光の女王が、淫らな肉色の触手で大の字に拘束されて、王宮の最上部から魔王の目の前へと引きずり下ろされた。

薄衣一枚で護られた起伏に恵まれる純潔肢体が、淫らな魔王の邪なる視姦に晒される。

穢れなきエスメラルダの身体は、ダークホールの視線を浴びせられただけで、知らない性熱を帯びさせられていった。

「ククク……見れば見るほど、極上の肉体よ」

「な、なんという…穢れた意識…っ！」

魔王の淫熱眼光に晒されただけで、薄布の下では肌が微細に汗を吹き、呼吸が乱されてしまう。無意識にも性的な羞恥を感じて視線から身体を隠したいのに、力のない両腕は左右に開かれ、閉じたい膝も逆に広げられてしまう。

必死でも弱々しい女王の抵抗を楽しむ魔王は、鋭い爪を持つ自らの手を伸ばして、上品な純白の薄布を引き裂いた。

——っビリリイっ！

「ああっ——な、何を…っ!?!」

ムリヤリ衣服を裂かれるという初めての恥辱に、凜とした女王の意識も確実に怯える。清純な女王の露出肌が、淫なる魔王の熱淫視にジワりと灼やかれた。

「ほほう……流石は女王エスメラルダ。美しい身体だ」

無残に裂かれた薄布を纏わせる、エスメラルダの剥き出し肢体。

細布と化した衣は、もはや左右の豊かな双乳を隠す役には立たず、むしろ美しい肌を惨めに飾って、恥辱的な淫猥さを誇張させている。白い肌と艶々の丸い巨爆乳は、細い布きれを乗せて、露出させられた先端の桃色媚突を危機的に見せつけていた。

細い腹部に纏う切れ端は縦長の臍をチラチラと見え隠れさせて、豊かな女腰はその肌のほとんど全てを晒されている。

大きなヒップラインも引き締まった下腹部も、頼りない細布だけを纏って視姦に耐えるしかない。女尻の深い谷間は女肉の官能性を十分以上に見せていて、穢れを知らない割れ目も清潔な濃い桃色でピタリと閉じて、姫処を護っていた。

前後それぞれの肉割れ目を横切る細い衣が、女王の肉体をより淫猥に引き立てている。

羞恥と屈辱で頬を染める拘束のエスメラルダは、美顔を逸らして視姦に耐えるしかできない。触手で拘束されているだけでなく、女王自身の聖なる力が、魔王の魔力に押さえ込まれてしまっているのだ。

ダークホールの視線と淫熱溢れる触手のおぞましさに、耐えながらも弱々しく震える聖

なる女王。

「お前の全ては、我の所有物となるのだ」

「何をっ——あああっ！」

触れられざるべき清楚な肢体に、魔王の淫掌が伸びてきた。

触手拘束で両腕を頭上に、両脚をM字の形に固定される。剥き出しにされた処女の肉溝は、細くて薄い布きれだけで、チラチラと見え隠れさせられていた。

更に両の巨爆乳を鷲掴みにされて、柔らかい脂肪に深く深く、しかし優しく指を食い込まされてゆく。

「お、お放しなさいっ——あうう…っ！」

小さな痛みと、より大きな性感を与えてくる、魔王の巧みな性技だった。

「どうした、清楚なるエスメラルダよ。随分と肌が熱を上げているぞ？　ククク…」

タツプリと持ち上げられて、寄せられて揉み上げられてゆくと、それだけで女神の肉体が、知らない性興奮を目覚めさせられてゆく。

「な、何を、愚かしいっ——はあああ…っ！」

胸部など、肉体の一箇所には過ぎないはず。なのに、胸から生まれた熱がユックリとジワリジワリと、全身に広げられてしまう。手足の指先までもが熱くされると、まるで全ての熱を溜め込むかのように、穢れなき胎内が性熱を上げ始めた。



——つぶつぶ！

「いやっ——やああああっ！」

——つぶつぶ！

二人の処女が、同時に姦通された。

スタールビーナの処女膣孔から、スターサファイアの初体験な女孔から、綺麗な破瓜の血が、一筋流れる。

周囲のクラスメイトたち、特に女子たちは、興味深げに凝視していた。

二人の星騎士は今、クラスメイトに強姦されたのだ。膣内の、プツンっという小さな衝撃と、心がヒビ割れるほどの大きな衝撃が、深く走る。

そんな少女たちの恥辱など全く考慮する事もなく、男子の肉棒が更に奥へと肉侵入を進めてきた。

——つぶぶぶ……ちぶつぶぶ……！

「つはあああつ……おく、までえ……っ！」

ヤスリで擦られるような痛みで、気絶してしまえそう。ムリヤリな性交なのに、女の肉体が知らない高揚感で、包まれてゆく。

勃起が根元まで収められると、男子たちは射精に向かって抽送を開始した。最初はゆっくりと、少しずつ早く、深く腰を打たれる。

——つぶちゅぷ、つぶつぶ……つぶぷ、ちゅぷつぷ、つぷつぷつぶちゅつ！

「ひいいっ——いやあああつ——いたいっ——はひっ、中いひいいいいっ！」

男子に押し倒されてカエルのように開脚させられた、メッシュボンデージのスタールビ
ーナの肉体が、抽送の衝撃で前後に揺れる。

仰向けの女体がグイグイと振動させられると、丸い形を保ったままの双乳がプルっプル
つと、前後に大きく柔らかく揺れる。

男子に跨がらされた半裸ボンデージのスターサファイアも、腰をガツシリと掴まれたま
ま、真下から力強く連続の突き上げ。

「いたいっ——つはあつ、つはあああつ——こんなっ……もうっ、やめてえええっ！」
騎乗位の姿勢で犯される女体は、押し上げ抽送に対して無意識に腰がくねられて、男子
の力を受けとめてしまう。

剥き出しの巨乳も上下に弾み、先端の媚突も赤みを増して、更にクリ……と硬化をする。
初めて教えられる男性器の堅さと熱さと、そして絶対的な存在感。

胎内を肉充足されながら子宮孔を突破されると、破瓜の痛みが遠退いて、甘い痺れが深
く深く、全身へと広がってきた。

「はああっ——つあああつ——何かっ……何か変ようっ！」

「お腹がはっ……ジンジンんっ——しびれてカラダがっ——熱くなるふううっ——っ！」

女体の本能が目覚めさせられてゆくと、手足の先から力が奪われてゆく。

犯される子宮が満たされる性感と、その頂点を求める飢餓感とで、どうしようもなく熱を上げさせられてしまうのだ。

クラスの男子に犯される恥辱。なのに女体は性感を高めて高めて、羞恥心も自尊心も自らの心の隅へと追いやつて、邪魔だと言わんばかりに容赦なく踏み潰してくる。

犯す男子とは別の二人に、それぞれの女体が弄ばれ始めた。

双乳を揉み遊ばれながら両掌で勃起を愛撫させられ、もう一人のペニスを口に含まされる、スターサファイア。背後から抱かれて巨乳を揉まれ、突き出された男性器に舌奉仕。

口を犯す男子は、次に星騎士たちの子宮へと肉挿入をする二人だろう。

「んむっ——んちゅっ——ムネひやめへえっ——あぶんっ——んぶ、んちゅっ！」

肉突きされるルビーナの肢体が上気して、肌がツルんと汗を滑らせる。口内を犯す肉角に対し、本体を満遍なく這い回る舌奉仕を拙く捧げながら、もう一人の牡肉に優しい両掌愛撫を施す。

突き上げられるサファイアも白い肌が恥汗にまみれて、初なフェロモンを発散させる。

口内姦入された堅い牡角を根元まで含み、もう一人の熱肉を双乳の谷間で挟んで、柔らかく愛撫を捧げていた。

女体の内外を男子たちに制圧されると、二人の全身が男性器の熱に侵食されてゆく。肉

体は素直に従い性奉仕に従事して、もう意識までもが無条件の服従で染められていった。

星騎士少女たちの濡れた舌は、クラスメイトの勃起を舐め回して唾液をこぼし、苦い先走り汁を舌先で舐めて飲み下す。

マシユマロみたいに柔らかい指は、堅い逸物を優しく包んでスリスリ愛撫。プルっプルの巨乳で挟まれ肉若棒は、汗と唾液とガマン汁でヌルヌルの摩擦性感を受けていた。

スタールビーナこと七斗の膣壁は粒々で、犯す男性器に対して懸命に締めつけて、本体の全てをヌルヌル愛撫して奉仕を捧げる。

スターサファイアこと十文華の膣粘膜は、無数の微細な壁で強姦突き上げのペニスを拙く抱き締めて、新しい蜜を溢れさせてキツく抱擁を続けていた。

「あつ——はふうつ、はあああつ——そんなにひちやつ——ナカれつ、あばれはらつ——ガンガンひちやつやああああああつ——っ！」

堅い肉棒で子宮壁を連打されると、子宮から背筋を通して、脳神経までもが蕩けさせられてゆく。手足の先まで性感の熱が伝搬されると、総身の脱力は舌にまで及び、もう言葉も蕩けを隠せない。

望まない快感に喘ぐ星騎士たちの膣壁が、更にキュぬルつと締めつけを強めると、犯す男子たちも性感が加速。射精に向かって、抽送の速度が速められた。

——っづぶつぷぶにユるっプッぷつ、っふッぷッぷつぷッぷルゆぬりゅッ！

子宮壁への連打が早く強く強くなると、呼応して、全身の脱力と性熱が上げられてゆく。女の脳に、勃起の重さや堅さや存在感が教え込まれてゆくと、子宮の飢餓感が更に増強。

「ひいっ——そんなにつ、つよひいひいひいっ——おなかズンズンっ——からだはっ——カララっ、とけちゃふうふうううっ！」

正常位で犯されるルビーナの背筋が反れて、眼の焦点が全く合わない。

隣で騎乗位レイプをされるサファイアも、もう自分の事さえ認識できない。

「だめらめラメへええっ——おかするやめへえっ——ああんっ、はうんんっ——あたまバカにひっ——バカになっちゃふっ——バカになるふううああああああんっ！」

ブラックダイアに掛けられた、魔法の恐怖。星騎士少女たち女体は、子宮に精液を受けないかぎり、飢餓感ばかりが強められてゆくのだ。

揉み遊ばれる乳房が振動で震え、丸いヒップが切なくイヤらしくくねる。

助けて——お願い、助けて——はやく、イきたい——。

白い肌が上気して汗を流し、蕩けた言葉はもう、二人が絶頂以外、何も受け入れられないと告白していた。

鼓動は限界まで高まって、全ての音が遠退いてゆく。耳の奥は、口内と胎内を犯される粘膜の濡れた抽送音と、鼓動だけで占められていった。

女体の全てが強姦に奪われて、正義の意識は碎かれて、無条件降伏へと転落してゆく。

もう、だめ——。

絶頂近くで碎かれる意識が、そう思ったのが、最後。

男子たちが腰を引いた次の瞬間、熱と太さを増した勃起で、一気に全力で子宮壁を強打された。

「イク時はイクって言うんだよおおおっ——ぐううっ！」

——つづぶちゅっつ！

「っ——っ!!」

飢餓感のスイッチを叩かれると、子宮から脳までの神経が一瞬で、知らない性感に爆ぜる。二人はクラスメイトたちの強姦で、初めての性交絶頂へと突き上げられてしまった。

「いいいい——イイクふっ——イくううううううううう——わたしっ、わたしいいいっ——ダンヒにおかされてへっ——キラっといっちやふうううううううっ!!」

双巨乳を突き出して肢体を震わせて、スタールビーナが性感の頂点を全校に告白。

隣でも、背筋を反らせ絶頂に震えるスターサファイアが、いき宣言をさせられていた。

「イっちやっ——あたひイっちやっ——イイクふううううううううう——ダンヒすごひいっ——ナカレドツンってへっ——おなかドツンってされてっ、キラっといくよふううううっ!!」

星騎士たちの視線は蕩け、もう自分が何を言っているのかさえ、解らない。

そして魔法の影響で、中出しのない絶頂は、更なる強い飢餓感を湧き上がらせる。

「つあああああつ——あたひつ——まだあああつ!!」

「わたしもうつ——はやくつ、おなかにひいいいっ——つ!!」

強い飢餓感で、脳神経までもが淫墮に染められてゆく。

更に絶頂のタイミングを狙われて、新たな淫魔法が掛けられる。

「これからは毎日、午後に向かって子宮の飢餓感が高まってゆきますわよ。そして一日に最低、三人の男子に中出しをされないと、その飢餓感は収まりません」

魔法を掛けられたと同時に、女体がゴォつと性熱で灼かれた。

二人を犯す男子たちが、肢体の内外で一斉に射精。

——ッドぶびゆりゆりゆるゆるルルルッ、びゅううううウツねびユるルビゆるるルルッ、ドくどくドぶびゆるびゆくりユビゆるるルルルッ!!

「つなかにっ、くるうううううつ——わたしひのなかにっ、イイイイ——つ!!」

子宮の中で放出されると、女体は無上の充足感だけで支配されてゆく。膣壁はクラスメイトの男性器を抱き締めて、ヌルヌチュと愛撫をして、絶頂と精液をいただけただけの感謝を示す。

肉突きだけの絶頂とは比較にならない、女体だけが得られる、子宮を満たされる喜び。

「あたひもっ——んぶゆうううつ——つくんくんつ——つもつといくのうううううつ!!」



「わたひの、うちわあつ——〇〇まちのおつ、いっちようめのつ——ごばんちつ——」

「あたひわつ——〇〇まちのつ——ああああつ——ごちよめつ——さんばんちのつ——」

更に二人は、自宅の電話番号から家族の勤め先、大学名や妹たちの小学校名から、自身のアドレスに至るまで、全プライベートをカメラに向かって紹介させられてしまった。

告白をさせられる度に、完全破滅へと自ら歩を進めてしまう。鼓動が高鳴り、子宮の飢餓感が更に膨張をさせられて、もうただ強姦悦楽だけが、全てだった。

絶望だけで全てを染められてしまうと、女体が決定的な破滅の解放感で、今まで以上の絶頂感へと、逃げ込むように突き上げられてゆく。

男たちに命じられた通り、悦楽寸前の官能愛顔をカメラに向けて喘ぐ、スタールビーナとスターサファイア。

星騎士たちの淫堕する姿に、ブラックダイヤは興奮しながらも冷静な笑みを浮かべる。

「やちよとつ——まりかのしよじよもふつ——一万円でつ、売ってるからはああああああああああああつ！」

「ようし、いい子だつ！イかせてやるぜつ、そりやつ！」

妹の処女の買値という、とんでもない言葉まで吐かされた。と同時に、子宮壁へと強姦魔たちにトドメの一撃を与えられて、女体が絶頂へと突き上げられてしまう。

——つつツンっ!!

うううっ!!」

カメラに向かつて、イキピースまでさせられながらの、恥知らずな告白だった。

二人に言われた強姦魔たちによって、子宮内射精が行われる。

「ケケケッ。ゲスで悪かったなっ、この淫乱がっ!」

「ゲスなオレたちの子種っ、タツプリと吞ませてやるぜっ!」

——つつドぶびゆうううううううううううううウッ、ビゅくりゅッ、どプ
びユるユリユるリゅルリユるリゅルリユるリゅルリユるリゅルリユるリゅルッ!!

子宮が膨らむほどの大量精液が、強い粘性を伴って、聖宮粘膜の全面に吐きつけられる。

「っイっちやふうううううううううううう——ナカらしでっ——もっといっちやふからはあああああああっ!!」

全身を絶頂に震わせるスタールビーナと、そのすぐ近くで悦楽に艶声を上げるスターサファイア。

「またイっ——またバカになつてへっ——ナカらしでイクふううううううううううううううっ!!」

汚らしい強姦魔たちの熱の粘液で、胎内を再占領される。それだけで、もう力に屈服する女の本能は、ただ強い牡への服従と感謝しか、できなくなっていた。

「あああ……ごーカンマさまあ……わたひ……しあわせへ……♥」

80min

REC TCG 01:15:02:14

015min

HQ 60P



TLCS SD

On

Full Auto

SHT:OFF

CH1

CH2

この続きは製品版をご購入の上、
お楽しみください。

編集・発行

株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7ヨドコウビル

TEL03-3555-3431 (販売) / FAX03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

<http://ktcom.jp/>

キルタイムコミュニケーション小説シリーズ あなたはどのタイプ？



ドキドキラブな
ハーレム系ライトノベル！

二次元
ドリーム文庫

サイズ:文庫

戦うヒロインが屈服されちゃう！
かなり過激なライトノベル！

二次元
ドリームノベルズ

サイズ:新書

※「二次元ドリームノベルズ」は18歳未満の方は購入できません

日常に密着したエロス、リアルな
舞台設定で送る官能小説レーベル！

リアルドリーム文庫

サイズ:文庫

フリーダム度120%!?
ジャンルにとらわれないドキドキ★ラブ！

あとみっく文庫

サイズ:文庫

詳しくはKTCの公式サイトにて！

キルタイム

検索



電子書籍版も各ダウンロードサイトにて続々配信中!!



あなたのキモチイをお手伝い!

キルタイムのアダルトコミック誌!

業界唯一! エロラブ&エロコミック満載!!



二次元 DREAM MAGAZINE

魔法、催眠、性転換...不思議Hコミック誌!



KTCといえば闘うヒロインアンソ!



COMIC UNREAL

メガミ クライシス

詳しくはKTCの公式サイトにて! キルタイム

電子書籍版も各ダウンロードサイトにて続々配信中!! ※いずれも18歳未満の方は購入できません。